

曙 光

第81号



令和5年6月1日発行

発行

広島県立障害者
リハビリテーションセンター
あけぼの

〒739-0036
東広島市西条町田口 295-3
TEL (082) 425-1455

毎日往復二時間以上かけて車で通勤している。そのせいか休日にはあまり車に乗る気がしない。私事だが福山市都市圏のノーマイカー運動の会員になっていて、自家用車を使用しなかった日数などの活動状況を毎月報告していることから、自転車か徒歩での移動を心掛けている。自宅から歩いて一分以内にバス停があるが、日に数本あるのみなので、公共交通機関を利用する際は最寄り駅から専らJR山陽本線を利用している。

八きつぷの春季用と夏季用を使って普通列車で出かけている。世に鉄道愛好家は結構いて、最も目にするのが、写真撮影に重きを置く（時折、迷惑となっていることもあるが）撮り鉄、地方路線の制覇など乗るのが好きな乗り鉄、時刻表を精読することを楽しむ読み鉄、最近では俳優の六角精児氏が広めた車窓からの眺め一杯やる呑み鉄などがある。当方の所属はというと、読み（時刻表でなく列車に揺られながら小説を読み、疲れたら車窓風景を楽しむ）鉄（兼）セミ乗り鉄だと思っている。

表された。これは、新幹線や大都市の収益でローカル線の赤字を補填してきたが、新型コロナウイルス感染症や在宅勤務等により収益が低迷し、大赤字のローカル線を今のまま抱え続けることは困難だから、事業者、自治体、国とで一緒に対策を考えましようということである。この問題は民間企業の経営と公共性をどう考えるかということであり、公共性の高い乗り物の存廃を考えるにあたって、経営と地域住民の生活との折り合いをどうつけるのかという難しい問題を解かなければならない。

当施設の赤字はコロナ禍前までは医療部門や他施設の応援により補ってもらっていたが、法人全体もJRと同じような経営状況となり支えることが困難となったので、やむを得ず今年度から人員削減や削れる項目は全てカットした。高次脳機能障害者への支援事業は収支均衡が無理であり、経営上の妥協点を見つけることは困難なことかもしれないが、二十年以上積み重ねた高次脳機能障害者に対する支援スキルを持った職員やノウハウを失うことは大きな損失だと思う。今後について県や法人を中心に経営と県民の福祉との折り合いをどうするのか考えたい。

当施設も他人事でなく、

昨年は鉄道開業150年

あけぼの事業活動紹介

図書コーナー



今年度から利用者や職員から不要となった本を収集し、生活介護室に図書コーナーとして設置しています。担当の利用者がPCにデータ入力して貸し出し管理をしています。返却期日を意識できるよう、『貸出カード』を活用するなどのルール設定も利用者が主体的に検討しています。

みんなの生活がより良いものになるよう、自分達の力でこういったものに取り組むことはとても良いことです。

ご利用者より



スーツの日・正装の日

通所グループ：月に1回「スーツの日」を設定しています。就労に向けて、会社訪問や面接の時などに慌てなくていようにスーツでの身だしなみチェックを行っています。また、その日にはビジネスマナーの学習会や事業所見学なども併せて行っています。

入所グループ：月に1回「正装の日」を設定しています。普段着での参加ですが、シワが寄っていないか、ボタンは取れてないか、髪は整っているか等、外出や人に会う際に困らないように、13のチェック項目に沿って確認を行っています。

女性は化粧も身だしなみの一つです。正装の日を導入して以降、今まで化粧をしなかった人が化粧をするようになったなど大きな心境の変化もありました。



学習会

- ・『高次脳機能障害について』『健康について』『制度について』『ビジネスマナー』の学習会を行っています。
- ・高次脳機能障害のある方にとっては、特に『自己認知』がどれくらいできているかが重要です。
- ・地域生活を送っていくには、周囲のみならず本人自身が障がいについて理解しておく必要があります。自分のことについて理解していないと、周囲へのヘルプもできず障害特性に合った必要な支援を受けることが出来ず、「なんか生きづらいな」「なぜ出来ないのか」と本人自身が悩むことになります。
- ・高次脳機能障害は『見えづらい障がい』と言われるように、周囲の人にも理解されにくい障がいです。まずは自身が自分のことをしっかりと理解し、難しさに対してどう対処するか、さらにはどのような支援が必要かを発信できるようになることが目標です。
- ・あけぼのでは、適切な行動をフィードバックし、学習会で知識をつけたり、一人では対処できない困難に対して枠組みを設定したりして『自己認知』に向けて支援を行っています。

行事紹介

3月

- ・ひな祭りメニュー
- ・握り寿司
- ・プチ外出
- ・職員離任式



色々なネタがあって
おいしかったなあ



普段食べられないか
ら『たけのこ飯』が
おいしかった。彩り
もよく、季節が感じ
れて良かった。



4月

- ・職員新任式
- ・おたのしみメニュー



今度は桜が咲いている時期に出来たら
良いなあ。良い気分転換になったので
定期的に関催してほしい。



園芸

生活介護利用者から

- ・今まで園芸はやったことなく初めての経験だった。オクラや花の種はこんな感じなんだと思った。今後の成長が楽しみ。
- ・園芸をするのは子供以来。自分たちで育てたものを食べるのが楽しみ。



5月

- ・プチ外出
- ・集団スポーツ
- ・園芸（種まき）



中田結
(新任)



- A1 お菓子を食べながらゴロゴロする
- A2 書道の先生
- A3 好きなご飯を値段を気にせずたくさん食べたい
- A4 お弁当が作れるようになりたい。限界までお酒を飲んでみたい
- A5 明るく元気に頑張ります！
よろしくお願いいたします。



新任・転入職員紹介

- Q1 休日の過ごし方
- Q2 子供の頃の夢
- Q3 自分へのご褒美
- Q4 今後挑戦したいこと
- Q5 意気込み



横山直弥
(松陽寮から転入)



- A1 娘と遊ぶ、キャンプ、釣り
- A2 職人、大工
- A3 少し長い家族旅行に行きたい
- A4 鮎釣りの大会に出てみたい
- A5 利用者さん、職員さんに信頼され、良い関係性を作り、楽しく仕事出来るよう頑張ります。

- A1 YouTube, ゲーム
- A2 特になし
- A3 コンビニスイーツ
- A4 趣味を見つけない
- A5 早く慣れるように頑張ります。

三隅英樹
(松陽寮から転入)



利用者の動き

令和5年1月1日～令和5年5月31日

《新規利用者》3名（入所1名、通所2名）

【内訳】利用経路：リハセンター高次脳専用病床1、高次脳外来1、就労支援機関紹介1
利用事業：生活訓練3

《利用終了者》7名（入所7名）

【内訳】生活の場：自宅3、グループホーム(障害)1、施設3
活動の場：就労継続支援B型2、生活介護2、その他3



*今年度より日中活動サービスは、「生活介護」と「生活訓練」の2事業となりました。

編集後記

五月八日から新型コロナウイルスが第五類に引き下げられました。マスクを外している人もチラホラ見られる中、周りではまだまだマスクをしている人が多い状況です。今年からは、この三年自粛していたことや、やりたかったことに挑戦していけたらなと思っています。またこの三年で趣味も大きく変わります。最近「推し活」を楽しんでいます。お金はかなり飛びますが、ライブが当たったら、いつか会えたらいいなあ。

題字紹介

今回の題字は、利用者の松浦ゆかりさんに書いていただきました。書道の時間に、いつも綺麗な字を書かれているので、松浦さんをお願いしました。生活介護で提供している作品は、館内に掲示しています。